

# 公益財団法人京都市芸術文化協会

## 令和2年度 事業計画

会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業として、事業を通じて、各分野における会員の拡大と芸術文化の普及・振興を図ります。

### 1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

#### (1) 文化誌『藝文京』の発行

「京都」という土地のもつ歴史や伝統、人、文化芸術を広く調査し、当協会に求められる役割を常に見据え、多角的に社会へとアピールします。

京都の芸術文化や協会のあゆみを記録するアーカイブの役割を担います。(年2回発行)

#### (2) 協会ホームページの運営

協会ホームページの運営を通じ、自主事業や会員催事情報等の告知、資料の公開など、芸術文化に関する情報を発信します。令和2年度は、スマートフォン等のモバイル機器でも快適に閲覧できるようホームページを改修し、よりアクセスしやすい環境を整えます。

### 2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

#### (1) 各種芸術文化事業の実施

##### ア リレートーク『藝・文・京』

会員や外部講師等を招いたリレートークを実施します。令和元年度に続けて、令和2年度は3回程度開催し、要旨は文化誌『藝文京』への掲載を予定します。リレートークを通じて得られた知見をもとに、協会創立40周年に向けて中期ビジョンの明文化に取り組みます。

実施予定	事業名	内容・出演等	会場
6, 10, 2月	リレートーク『藝・文・京』Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ	テーマ及び登壇者調整中	京都芸術センター

##### イ 京都ビッグ・バンド・フェスティバル

実施日	事業名	内容・出演等	会場
2月7日	第45回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル	出演：京都府吹奏楽連盟所属団体	京都コンサートホール大ホール

#### (2) 各種芸術文化事業の奨励(後援・共催)

会員をはじめ、広く芸術文化の普及・発展に寄与する事業に対して、協会名義の後援や共催を行います。

### 3 芸術文化に関する教育及び普及

#### (1) いけばなプレゼンテーション2020

「いけばなの日」(6月6日)に合わせ、いけばな発祥の地である京都から魅力を発信するとともに、異分野交流による文化・芸術の普及を目指します。

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
6月6日、7日	京都いけばなプレゼンテーション2020	いけばなを中心とした文化交流のためのイベント(協力：京都いけばな協会)	京都芸術センター

## (2) 夏休み芸術体験教室・藝文京芸術教室

子どもから大人まで幅広い層を対象とした多岐にわたる文化・芸術に出会える芸術体験教室を、夏休み期間中に実施します。

令和2年度は、京都芸術センター20周年事業及び文化芸術事業(ようこそアーティスト)の枠組みも活用し、より多くの分野を紹介する機会とします。

開催日	事業名	講師等	会場
8月7日、8日、9日	ゲートウェイ (Gateway)	協会会員及び京都芸術センター事業で連携するアーティスト ・7日は子ども対象 ・8日、9日は子ども(親子)を含む一般対象	京都芸術センター

Gateway(ゲートウェイ): 入り口。玄関。門のある通路の意味。文化・芸術の入り口(機会)を創る。

## 4 芸術家等の育成及び顕彰

### (1) 芸術家等の顕彰

当協会に所属する会員を対象とし、「京都市芸術文化協会賞」として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、また、「同新人賞」として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を、それぞれ表彰します。

## 5 その他芸術文化の振興を達成するために必要な事業【協会創立40周年に向けた取組】

### ※第5号議案 関係

協会の社会的な位置づけや組織の強み・魅力を再確認し、創立40周年を通過点とする公益財団法人としての組織及び事業の開発に取り組みます。

### (1) 中長期ビジョン策定プロジェクト

本事業を実施するために中長期ビジョン策定プロジェクト委員会を設置し、令和4年3月までの2箇年にわたって組織及び事業の検討をすすめます。

### (2) リレートーク『藝・文・京』(再掲)

実施予定	事業名	内容・出演等	会場
6, 10, 2月	リレートーク『藝・文・京』Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ	テーマ及び登壇者調整中	京都芸術センター

## 6 会員関連活動

### (1) 総会・懇親会

2020年7月7日(火)に会員総会・懇親会を開催します。(会場: 京都ホテルオークラ)

### (2) 会員増加に向けた取組

ホームページや文化誌『藝文京』に協会の取組を掲載し、広く発信するとともに、リレートークや各種事業を通じて協会の魅力や社会的な役割を顕在化させ、会員の増加を目指します。

## Ⅱ 受託・共同主催事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「第2期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）」や「京都文化芸術プログラム2020+（平成28年8月策定）」に基づく事業を受託及び共同主催し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施します。

### 1 市民狂言会（受託）

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館（会場）において開催します。（6月5日、8月19日※、12月4日、3月5日）

※ 前売2,600円 当日3,200円 高校生以下1,000円（※8月は500円） 年間席札8,400円

### 2 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組

（京都文化芸術プログラム2020+関連事業＜重要事業①＞）

#### （1）文化芸術授業（ようこそアーティスト）（受託）

京都市内の小・中・総合支援学校、幼稚園、保育園（所）、児童館、インターナショナルスクール等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。（約70校で実施）

#### （2）伝統公演授業（ようこそ和の空間）（受託）

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる場所（能楽堂や歌舞練場等）において、伝統芸能を鑑賞する事業を実施します。（2日間4公演）

#### （3）中学生の能楽大連吟～未来～（受託）

能楽の謡を通して中学生が主体となり、自ら日常的に能楽を楽しむことで、能楽に関連した伝統産業や伝統文化に触れ、京都の伝統文化の未来の「担い手」、「支え手」の形成へと発展させることを目的に実施します。

企画制作：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス

開催日	内容	会場
11月23日	京都市内の中学生の健全なコミュニケーション能力養成を目指して、大勢で能楽の謡「高砂」を謡う。 ※稽古は9月から5～6回、各中学校で開催予定 講師：深野貴彦、松野浩行、宮本茂樹、松井美樹、樹下千慧他	ロームシアター京都ノースホール（予定）

#### （4）教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」公演（受託）

札幌市教育文化会館より、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスに企画制作を依頼され実施する能楽公演を実施します。

開催日	内容	会場
9月2日	出演：深野貴彦（観世流シテ方）、和久莊太郎（宝生流シテ方）、茂山茂（大蔵流狂言師）ほか 演目：観世流能「葵上 稗之出 空之祈」、宝生流能「巻絹 五段神楽」、大蔵流狂言「素袍落」	札幌市教育文化会館大ホール

#### （5）セレブレーション（聖火リレー式典）（受託）

京都市内で開催されるオリンピック聖火リレー式典に、令和元年度「中学生の能楽大連吟～未来～」に参加した中学生と能楽師が出演します。

制作：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス

開催日	内容	会場
5月27日	出演：京都市立中学校(5校)の生徒、深野貴彦、松野浩行、 宮本茂樹、松井美樹、樹下千慧ほか 内容：半能「高砂」	岡崎公園

### 3 国立京都伝統芸能文化センター（仮称）の創設とそれに向けた先駆的取組の実施

（京都文化芸術プログラム2020+関連事業<重要事業③>）

#### （1）伝統芸能文化創生プロジェクト（共同主催） 【後掲】

### 4 「東京オリンピック・パラリンピック」等を契機とした国際的な祭典の開催

（京都文化芸術プログラム2020+関連事業<重要事業⑨>）

#### （1）KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2020（共同主催） 【後掲】

#### （2）KYOTO STEAM—世界文化交流祭—（共同主催） 【後掲】

### 5 アーティスト・イン・レジデンスの強化など世界のアーティストが集まる文化芸術の

ハブを目指した環境整備（京都文化芸術プログラム2020+関連事業<重要事業⑩>）

#### （1）アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（受託） 【後掲】

### 6 助成関係事業

#### （1）京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務

#### （2）京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務

#### （3）京都市文化芸術顕彰制度[文化功労者・芸術新人賞・芸術振興賞] 表彰業務

### 7 その他

#### （1）京都市新規採用職員研修

京都市の新規採用職員の研修として、茶道の講義と体験を実施します。

#### （2）京都市自治記念式典オープニングセレモニー

### Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術関係者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行っており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として管理運営を行っています。

令和2年度は、京都芸術センターが開設20周年でもあり、全体の事業テーマを「We Age」とし、高齢化や時間の積み重ね、世代間の交流等を念頭に置きながら、事業を展開します。

※ ★印の事業は、20周年記念事業として実施

#### 【活動センター機能】

##### 1 伝統的芸術の継承・創造事業

###### (1) 明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を開催します。(料金：1,000円)

開催日	席主(案)
5月30日、31日	茶の湯サロン「いっぷく」 ★ *20周年記念式典と同日に開催(後掲)
調整中	英ゆう(画家)

###### (2) 伝統芸能文化創生プロジェクト(再掲)

国立京都伝統芸能文化センター(仮称)の創設を推進するために、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(略称:TARO)を設置し、伝統芸能や文化に携わる他機関・組織、実演家、職人、研究者とリサーチを通してネットワーク構築を行います。また、文化庁や東京文化財研究所など構築したネットワーク先と連携し、次の事業を重点的に行います。

ア 伝統芸能文化に係る相談・対応

イ 関係機関のネットワーク構築

伝統芸能文化をめぐる現状や課題を研究機関やネットワーク先と共有。シンポジウム&総合イベントの実施。

ウ 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

伝統芸能文化の保存・継承・普及を目的とした共同プログラムを募集。共同プログラムの採択は3件を予定し、4月に京都で説明会を実施。2月には採択した共同プロジェクトの中間報告会を開催予定。

これらの事業のほか、2月にはシンポジウム&総合イベントを実施します。

## 2 芸術家・芸術関係者育成事業

### (1) Performing Arts Program 2020

ジャンルで区切ることが難しい新しい表現や、クロスジャンルの表現を積極的に創造し発信することを目指す事業を実施します。また、各事業実施に合わせて、批評プログラムを実施します。

#### ア 20周年記念式典 ★

ゲスト・コーディネーターに村川拓也（演出家・映像作家）を迎え、京都芸術センターの20年を共に歩んできた方々と、未来に向けた一步を踏み出す節目の瞬間をつくり出します。また、茶の湯サロン「いっぷく」による呈茶も実施します。

開催日	出演者	料金
5月30日、31日	いしいしんじ（小説家、レコード愛好家）、新内志賀（新内節）、建島哲（京都芸術センター館長、詩人）&.es（音楽）、はなもとゆか×マツキモエ（ダンス）、hyslom（美術）、THE ROB CARLTON（演劇）、ヤマガミユキヒロ（美術）（順不同）	1,000円 （一般販売は枚数限定で5月1日から開始予定）

#### イ（仮）夏休み芸術体験劇場 ★

開催日	内容
8月7日～23日	安野太郎「大霊廟Ⅱ」：インスタレーションとパフォーマンス
8月中旬	イマーシブ・シアター：館内を巡りながら鑑賞するパフォーマンスを予定

### (2) 京都国際ダンスワークショップフェスティバル2020

ダンスアンドエンヴァイロメントと連携し、国際的に活躍する講師を招き、テーマを「SHARE」としてダンスワークショップを実施します。

開催日	講師
4月17日～5月6日	大前光市（日本）、カティア・ムストネン（フィンランド）、ミンロン・ヤン（アメリカ）、フランチェスコ・スカベッタ（ノルウェー）、ホラシオ・マクアクア（スペイン）、坂本公成（日本）、野村 香子（日本）、イスマエラ（フランス）、チョン・ヨンドゥ（韓国）、エリック・ラムルー（フランス）、森裕子（日本）、合田有紀（日本）

#### ア ショーイング

開催日	講師	会場
5月6日	エリック・ラムルー（フランス）	京都芸術センター

#### イ YOUTH TANK PROJECT

プログラム	選考	受入先
京都×スウェーデンダンス エクステンジ	フランチェスコ・スカベッタ （ノルウェー）	ヴィトリケ・センター・フォー ー・パフォーマンス・アーツ
京都×ソウルダンスエク スチェンジ	チョン・ヨンドゥ（韓国）	DOO DANCE THEATER

その他、明倫ボディサロン（身体メンテナンスと情報交換、参加者、講師等の交流を行う場）、25周年記念特設フェスティバルトーク（フェスティバルが迎ってきた道を紹介し将来の形を考えるトーク）、スカラーミーティング（推薦を受けて参加するダンサーが集まり交流を深める場）も併せて実施します。

ウ 25周年記念公演「SHARE」

開催日	内容	会場	料金
4月24日、25日	第1部：チョン・ヨンドウの演出・振付による寺田みさこ、森裕子のソロ、デュオ作品の上演 第2部：カティア・ムストネンの構成によるフェスティバルに縁のあるダンサーによる競演	京都芸術センター	前売 一般3,000円 ／学生2,500円 ※当日は500円増

(3) トラディショナル・シアター・トレーニング2020 (T. T. T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能、狂言及び日本舞踊に関する基礎知識・技術等を習得するプログラムを実施します。

令和2年度は、能、狂言及び日本舞踊等のオリエンテーションとワークショップ（7月11日）の後、各コースに分かれてトレーニング（7月12日～8月1日）を行い、大江能楽堂で成果発表（8月2日）を行います。

対象	定員	講師等	受講料
演劇・ダンスなど舞台芸術に関わる表現活動、または研究活動を行っている者	24名 (日本舞踊・能・狂言 各8名程度)	能：片山伸吾・田茂井廣道・大江信行 狂言：茂山あきら・茂山千之丞・丸石やすし 日本舞踊：若柳弥生 プログラム・ディレクター：マシュー・ショアーズ	一般90,000円 学生・リピーター 75,000円

(4) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2020 (再掲)

今回から新しいディレクター3名（川崎陽子、ジュリエット・礼子・ナップ、塚原悠也）を迎えて開催する国際舞台芸術祭。10月10日から11月3日まで、国内・海外から先駆的な作品を紹介します。

(5) 企画展 (二人展)

開催日	事業名	内容
5月23日～6月28日	影を刺す光ー三嶽伊紗×守屋友樹ー	過去に京都芸術センターで展示を経験したアーティストと若手アーティストとの組み合わせで行う企画展

(6) 若手グループ展

開催日	事業名	内容
7月11日～8月30日	ニューミュージアム「タイトル未定」	出展作家：菊池和晃、柳瀬安里、黒川岳、ヨシダミノル、現代家族

(7) Focus 展「タイトル未定」

開催日	内容
12月～2月	着実に制作・発表を続ける中堅アーティストに焦点をあて、個展形式で紹介するシリーズの3回目。2005年京都市立芸術大学大学院を修了し、現在はベルリンを拠点に世界で活躍する手塚愛子を取り上げる。

### (8) 跳ぶまえに聞け

アーティストが作品を創作するために必要なスキルを養うことを目的としたワークショップやトレーニング・プログラムを実施します。

## 3 先駆的・実験的事業

### (1) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2020

アンスティチュフランセ関西と共同でニュイ・ブランシュ(白夜祭)を10月3日に実施します。

### (2) KYOTO STEAM—世界文化交流祭—(再掲)

「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマに、京都の文化資源を活かして文化芸術の新たな可能性・価値を問う新しい形態のフェスティバルとして、令和3年度に向けたトーク等のイベントを実施します。また、創造人材の育成や国際交流・ネットワーク構築・情報発信に京都市と共同して取り組みます。

## 4 制作・発表支援事業

### (1) 制作支援事業(制作室使用者募集)

京都芸術センター制作室の使用者を公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間無料で提供します。公募は年2回(3月及び9月)行います。

### (2) Co-program2020

京都芸術センターと共同で行う事業プランを公募し、選出した事業を実施します。

ア カテゴリーA:「共同制作」(公演事業) 1件

実施時期	事業名	団体名	内容
5月	「盲年」	幻灯劇場	能「弱法師」を下敷きに、現代社会で多発する家庭内の暴力や犯罪に焦点をあてた作品を上演する。

イ カテゴリーB:「共同開催」(展覧会事業) 1件

実施時期	事業名	団体名	内容
3月～4月	「未然のライシテ、どげざの目線(仮)」	黒田大スケ	京都出身の黒田による京都市内の銅像をモチーフに彫刻の霊性を考える展覧会

ウ カテゴリーC:「共同実験」(リサーチ、レクチャー、ワークショップ等) 3件

実施時期	事業名	団体名	内容
調整中	「『京の園』は誰のものか」	神田真直	景観論争を経た現代の京都の姿を描く戯曲創作におけるリサーチ
調整中	「ステイトメント:ダンサーを記録する」	川瀬亜衣	あまり表に出てこないダンサーの言葉を集め、印刷物を作成する。
調整中	「Repetitive Activity -身体と営み- 押し出しワークショップ」	野村由香	身近な素材を用いて参加者とともに制作を行うワークショップ



エ カテゴリーD:「KAC セレクション」(演劇、ダンス、音楽、伝統芸能等の舞台芸術の分野で、発表に限定して支援を行います。)

実施時期	事業名	団体名	内容
6月	〈老い〉をめぐるシアタープロジェクト2020	NPO劇研	演劇公演
7月	わが子とおどる	チチカカコ	ダンス公演
9月	『MARIAGE   マリアージュ』	ゴータ企画	ドラッグクィーン+ダンス公演
11月	The Other Side	伏木啓	パフォーマンス公演
11月	ECHO	今村達紀	音楽+ペイント+ダンスパフォーマンス公演
1月	SAX + PERCUSSION-DUO の試み(仮)	Cosmo Projekt	音楽公演
1月	Song of Innocence 無垢なるうた	アンサンブル・ゾネ	ダンス公演
2月	La mort de Tintagiles	BRACKE	演劇公演
3月	ダンスでいこう！！	NPO法人JCDN	ダンス公演+振付家育成
調製中	京都デザイン会議〈生きること〉と〈デザイン〉	京都デザイン協会	トーク+ファッションショー

### (3) U35創造支援事業「KIPPU」

京都芸術センター制作室で制作し、ロームシアター京都ノースホールで発表する35歳以下のアーティストを公募し、選出した3団体を対象に支援を行います。批評の依頼や制作面のアドバイスも行います。

実施時期	採択団体	内容
7月10日～12日	中川裕貴(京都)	音楽「アウト、セーフ、フレーム」
12月第1週	シラカン(神奈川)	新作公演
12月10日～13日	スペースノットブランク(東京)	新作公演

## 【情報センター機能】

### 1 芸術文化情報の収集・発信事業

#### (1) 図書室の運営

センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

蔵書のうち、目的に見合う図書等約5,000冊、ビデオ等約500本を選択のうえ、閲覧に供し、芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催します。

#### (2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

#### (3) 通信紙（京都芸術センター通信）の発行

京都芸術センター事業の広報をはじめ国内外の芸術文化に関する情報を掲載した通信紙を、芸術関係者・機関、図書室、公共施設等を対象に、毎月発行します。

#### (4) 京都芸術センターホームページ

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します。

#### (5) 京都文化芸術オフィシャルサイト（KYOTO ART BOX）

京都市の文化芸術全般の情報を集約したホームページを運営します。平成27年度より京都芸術センター事業として実施し、京都文化芸術コア・ネットワークとの連携をはかり、プロジェクトやメンバー実施事業のレポート等を掲載します。

### 2 教育普及事業

#### (1) インターンシップ・プログラム

事業単位で募集を行い、より専門性を高め、経験や知識を習得できる機会となるよう実施します。

## 【交流センター機能】

### 1 国際交流事業

#### (1) アーティスト・イン・レジデンス

国内外の組織と連携し、京都での滞在制作やリサーチ、また京都を拠点とする芸術家等の海外での滞在制作やリサーチ等を積極的に進める事業を実施、支援します。

##### ア 【京都での滞在制作】

滞在期間	参加者名	居住国/ジャンル	区分
7月～8月	Jenna Lee	オーストラリア/工芸・美術	エクステンジ/ARTSPACE (シドニー)
8月～10月	未定	未定/クロスジャンル	エクステンジ/ Ujazdowski Castle Centre for Contemporary Art
9月～10月	未定	未定/クロスジャンル	エクステンジ/Asia Discovers Asia Meeting for Contemporary Performance (ADAM)

##### イ 【海外での滞在制作】

滞在期間	参加者名	渡航先/ジャンル	区分
7月～8月	未定	台北/クロスジャンル	エクステンジ/Asia Discovers Asia Meeting for Contemporary Performance (ADAM)
8月～10月	石黒健一	シドニー/美術	エクステンジ/ARTSPACE
8月～10月	未定	ワルシャワ/クロスジャンル	エクステンジ/ Ujazdowski Castle Centre for Contemporary Art
10月～1月	公募中	パリ/未定	連携（おおさか創造千島財 団、ヴィラ九条山との合同主 権）
1月～4月	公募中	パリ/未定	連携（おおさか創造千島財 団、ヴィラ九条山との合同主 権）
調整中	未定	ケルン/美術	エクステンジ/Quartier am Hafen
調整中	未定	バルセロナ/パフォーマンスアート	エクステンジ/GRANER

#### (2) アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（再掲）

全国のアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の拠点となるためのプラットフォームを構築し、国際文化交流をより一層加速させ、世界中からアーティストやAIRの情報が京都に集まる環境整備を進めます。

##### ア 情報集約・発信

これまでにネットワークを構築したAIR施設等の情報をまとめたデータベースを活用し、日本のAIR情報を一元的に世界に向けて発信するウェブプラットフォームを運営します。

#### イ 調査研究・AIRに関するアーカイビング

AIRプログラムの事例を調査し、紹介するほか、日本、世界でのAIRに関する議論を深めアーカイブ化します。

#### ウ ネットワーク構築

AIRに関する様々な相談に応じるための窓口機能を設置します。

## 2 市民及び芸術家相互の交流事業

### (1) 明倫レコード倶楽部

開催日	内容	会場
5月16日、9月5日、 12月12日、3月13日	SP・LPレコードを使用するレコード音楽鑑賞 会を開催 講師：いしいしんじ	京都芸術センター

### (2) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施します。

春、夏、冬には、集中して実施する時期を設け、周知・集客を図ります。

### (3) 夏休み芸術体験教室・藝文京芸術教室【再掲】 ★

子ども芸術体験教室及び小学生以上を対象とした多岐にわたる芸術分野に出会える芸術体験教室を、夏休み期間中に実施します。令和2年度は、京都芸術センター20周年事業及び文化芸術体験事業（ようこそアーティスト）の枠組みも活用し、「京都芸術センターで多岐にわたる文化・芸術を体験する機会」を創出します。

開催日	事業名称	講師等	会場
8月7日、8日、9日	ゲートウェイ (Gateway)	協会会員及び京都芸術センター事業で連携するアーティスト ・7日は子ども対象 ・8日、9日は子ども（親子）を含む一般対象	京都芸術センター

## 3 地域・学術・産業との連携事業

### (1) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロンいっぷくなどの実施を通じて、センターとボランティアの方々との交流をさらに深めます。 ※ 登録者数：512名（令和2年3月1日現在）

### (2) 地域との連携事業

開催日	事業名
調整中	ペトロフ・ピアノコンサート (主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会
11月14日、15日	明倫フェスタ (主催)明倫自治連合会

## 4 ネットワーキング

### (1) 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術コア・ネットワークを運営します。メンバーが企画実施するプロジェクトや月1回開催するサロンのサポート等を行います。

## (2) パートナーシップ／ネットワーク

京都市内外の他機関とのパートナーシップにより連携機能を強化し、幅広いネットワークを構築することを目指します。

※連携機関：東山アーティスト・プレイスマンツサービス（HAPS）実行委員会等

### (参考) ギャラリー事業 スケジュール

開催日	事業名	内容
3月1日～ 4月5日	てんとうむしプロジェクト06 展 覧会「つながりの方程式」	てんとうむしプロジェクト（ボランティア・スタッフとつくる展覧会
5月23日～ 6月28日	影を刺す光－三嶽伊紗×守屋友樹 －	過去に京都芸術センターで展示を経験したアーティストと若手アーティストとの組み合わせで行う企画展
7月11日～ 8月30日	ニューミュージョン#3 タイトル未定	1990年代生まれのアーティスト菊池和晃、柳瀬安里、黒川岳の3名と、ヨシダミノル（1935-2010）と彼の家族で構成されるグループ現代家族の作品を紹介
9月～10月	WE AGE	65歳以上の公募企画。展覧会とパフォーマンスを実施 ※4月から開催時期を変更
10月～11月	新企画	絵画等の平面作品による企画展を予定
12月～2月	FOCUS #3 タイトル未定－手塚愛子展	着実に制作・発表を続ける中堅アーティストに焦点をあて、個展形式で紹介するシリーズの3回目。2005年京都市立芸術大学大学院を修了し、現在、ベルリンを拠点に世界で活躍する手塚愛子を取り上げる
3月～4月	Co-program カテゴリーB 黒田大スケ「未然のライシテ、どげざの目線（仮）」	京都出身の黒田による京都市内の銅像をモチーフに彫刻の霊性を考える展覧会